

International Day to Protect Education from Attack

教育を攻撃から守る国際デーは「武力攻撃から教育を守り、紛争下でもすべての人が安全な環境で教育を受けられるよう、世界各国が責任を持って取り組む日」として、すべての国連加盟国、国連機関、地域組織やNGO、そして個人に対して対策やアクションを呼びかけます。

教育への攻撃とは？

考え（政治、軍事、イデオロギー、宗派、民族、宗教など）のちがいが争いが起こり、以下のような攻撃が、学校、通学路、教員、子ども達などに向けられることをいいます。

- 学校（建物）への攻撃（略奪含む）
- 生徒、教員、その他教育関係者への攻撃
- 学校・大学の軍事利用
- 学校内あるいは通学路における子どもの徴兵・徴用
学校内・大学構内、あるいは通学路における性的暴力
- 高等教育に対する攻撃
（学生・教員・職員への暴力、施設への攻撃など）



建物が破壊されて学校に通えなくなるだけではなく、攻撃・誘拐・性的暴力への恐怖やトラウマで学校に行けなくなってしまふ子ども達もいます。こうして子ども達が教育を受けられなくなってしまふことは、その地域・コミュニティ・国の発展や将来への悪影響、飢えや貧困などの悪循環をもたらしてしまいます。

教育への攻撃は1日あたり約___件起きている

2015～2019年の5年間で11,000件を超える教育への攻撃により、世界中で22,000人以上の教員、生徒、教育関係者が被害を受けました。換算すると1日あたり約6件の攻撃が起き、約12人が被害を受けたこととなります。2013～2017年の5年間の教育への攻撃件数（約12,700件）よりは減ったものの、別の地域で新たな攻撃が発生したり、攻撃件数が増えたりした地域があることが分かっています。



教育の安全確保に向けて

こうした教育への攻撃に対し、世界では学校が攻撃を受けた子ども達への物資支援や、「学校を争いに使わないでください、教育への攻撃対策をもっと支援してください」（[学校保護宣言](#)、2020年8月20日時点で日本政府は未調印）「紛争下や紛争の影響を受けた国、低所得国への援助の配分を増やしてください」（旧：世界一大きな授業）など、様々な政策提言が行われています。他にも、私達にどんなことができるか、考えて話し合ってみましょう！



引用
・公益財団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン公式ブログ
https://www.savechildren.or.jp/scjcms/sc_activity.php?id=3328
https://www.savechildren.or.jp/scjcms/sc_activity.php?id=2696
・教育を攻撃から守る世界連合（GCPEA）「攻撃される教育2020」（原題：Education Under Attack 2020）
・教育協力NGOネットワーク（JNNE）
「世界一大きな授業2019（現：SDG4教育キャンペーン）」教材（絶版）

もっと国際デー！

関連情報を調べてアクションをおこしてみよう！

- ・ 世界の問題について調べてみる
- ・ 感じたこと、考えたことを家族に伝える など

FTCJはあなたの好きなこと・特技を活かした国際協力をおすすめしています。あなただからこそできる国際協力を一緒に探しませんか？ 全国のメンバーが様々なアクションを起こしています。

アクションのヒントはこちら！ [FTCJ 活動ヒント](#) [検索](#)

Together, We Can CHANGE the World はじめてみよう！あなたにできること。

